

「第2期 学校改革！教職員の時間創造プログラム」における実績報告
及び プログラムの延長骨子（案）について

令和5年（2023年）11月24日
教育改革推進課

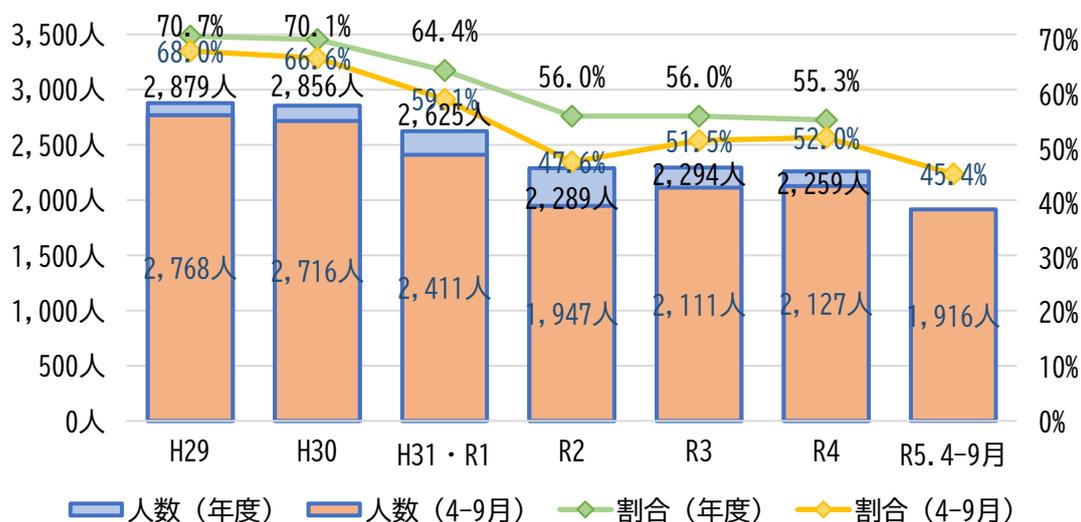
I プログラムの目標達成状況（令和5年9月末時点）

令和5年9月末時点におけるプログラムに掲げる各目標の達成状況は以下のとおりである。すべての項目において目標達成には至っていないものの、取組の成果は着実に表れている。

時間外勤務の削減目標である目標1（月45時間）・2（年360時間）については、令和2年度以降ほぼ横ばいの状況であったが、令和5年度までの上半期比較では、昨年度に比べ減少の結果が出ている。特に、当面の目標（月80時間）については、取組の効果が表れている。

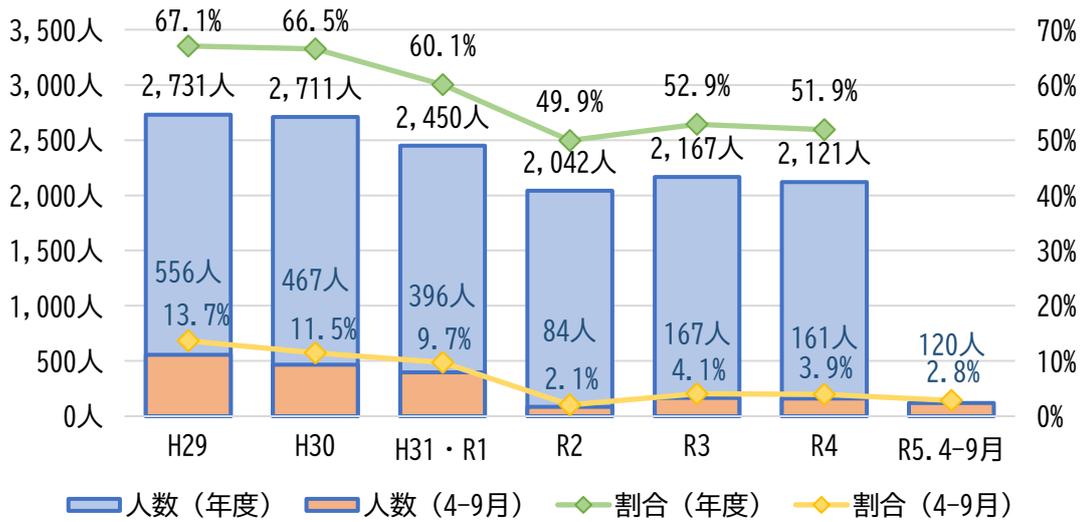
また、年休の取得目標である目標3（年16日以上）においては、平成29年以降取得日数は減少傾向にあったが、令和3年からは増加に転じ、令和4年はさらに大幅に増加。令和5年においては、目標達成の可能性のある状況である。

≪目標1≫ 正規の勤務時間外の在校等時間が1か月45時間を超える教職員数0人



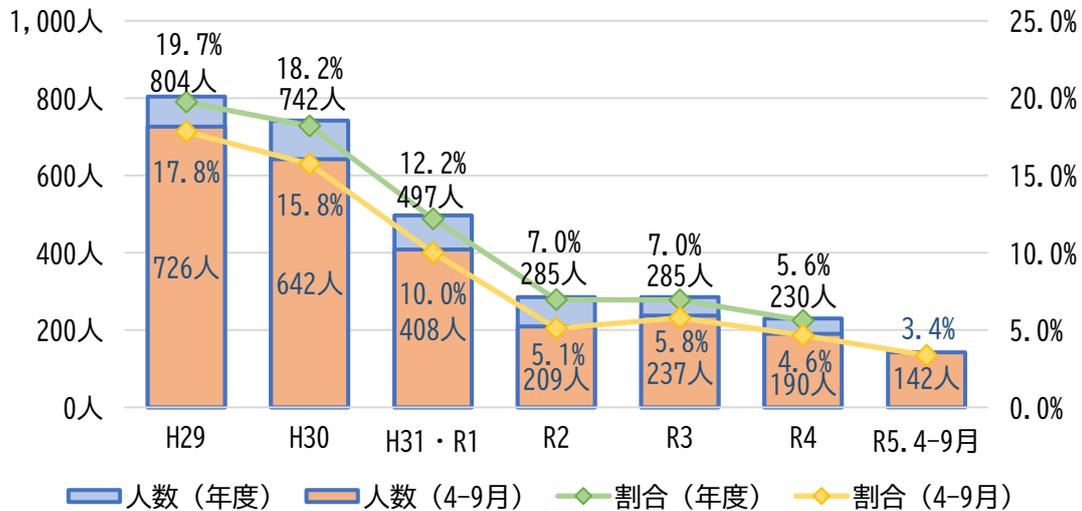
- ・平成29年9月末時点と比較すると、人数にして約850人、割合にして約20ポイント減少。
- ・令和4年9月末時点と比較すると、人数にして約200人、割合にして6.6ポイント減少。

《目標2》 正規の勤務時間外の在校等時間が1年間360時間を超える教職員数0人



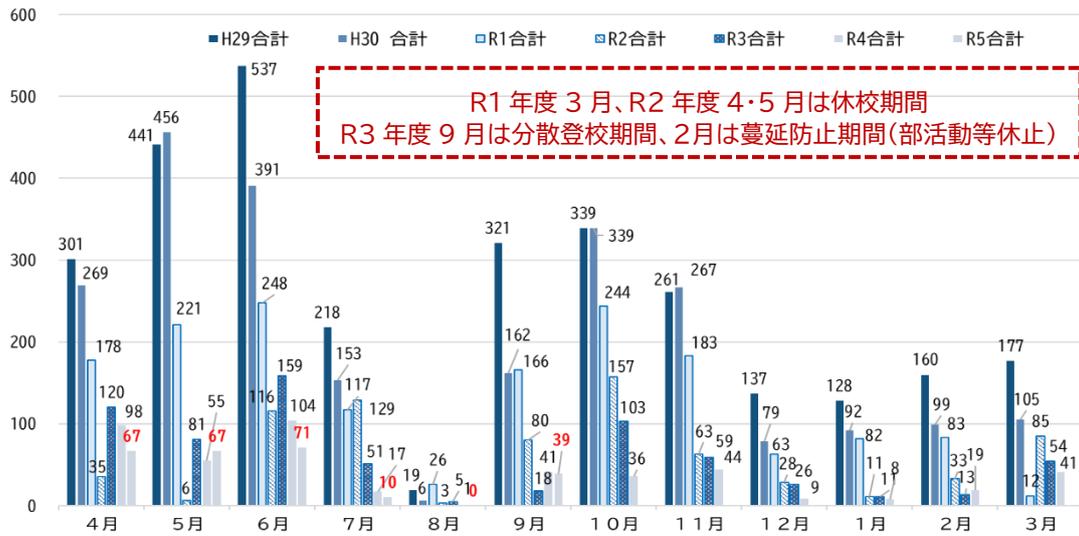
- ・平成29年9月末時点比較すると、人数にして約400人、割合にして約10ポイント減少。
- ・令和4年9月末時点比較すると、人数にして約40人、割合にして約1ポイント減少。

《当面の目標》 正規の勤務時間外の在校等時間が1か月80時間を超える教職員数0人



- ・平成29年9月末時点と比較すると、人数にして約600人、割合にして約14ポイント減少。
- ・令和4年9月末時点と比較すると、人数にして約50人、割合にして約1ポイント減少。
- ・「予備時数0の取組」「校務支援システムの導入」「給食費の公会計化及び学校徴収金のシステム管理」など、これまでの取組の成果が表れたものと考えられる。
- ・また、学校経営重点計画及び人事評価（業績評価）の目標に働き方改革についての項目を取り入れたことで、「日課の工夫」、「教職員の意識改革」、「行事や会議等の精選」等、各学校における取組が大きく進展したものと考えられる。

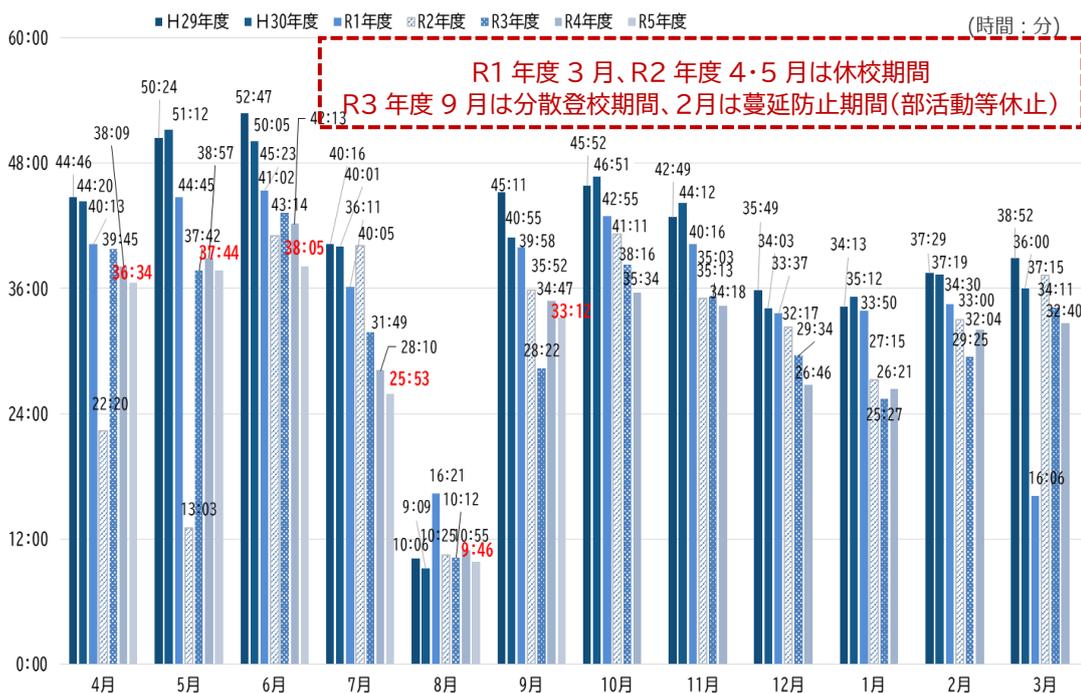
【参考】 時間外在校等時間が 80 時間を超えた教職員数（月ごと）



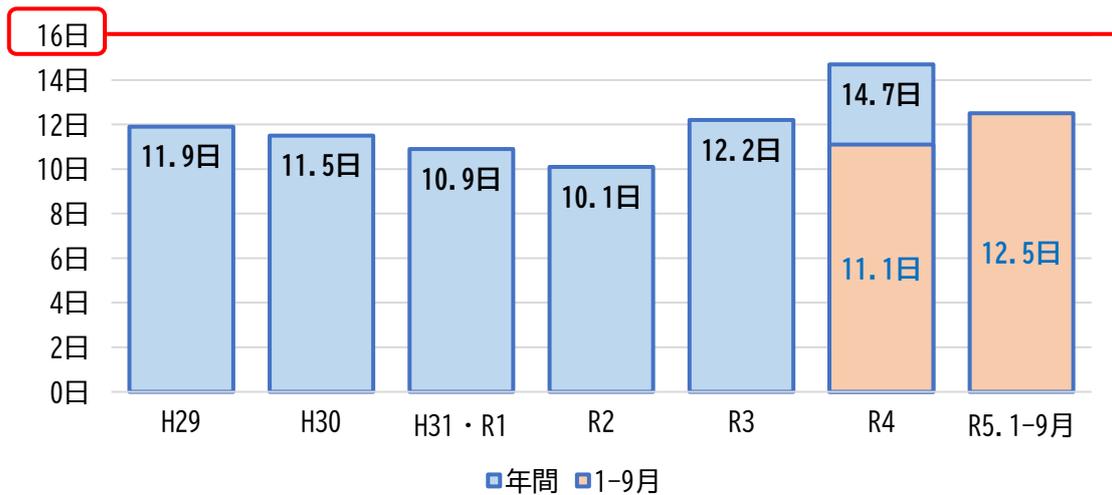
【参考】 時間外在校等時間の一人一月あたりの平均時間

| | H29 基準 (2017) | H30 (2018) | H31・R1 (2019) | R2 (2020) | R3 (2021) | R4 (2022) | R5.4-9月 (2023) |
|------------------------------|------------------|---------------|------------------|--------------|--------------|--------------|-------------------|
| 在校時間 | 39:53 | 39:06 | 35:20 | 30:43 | 31:58 | 31:45 | 30:13 |
| 対29年度増減 | | -0:47 | -4:33 | -9:10 | -7:55 | -8:08 | -9:40 |
| | | -2.0% | -11.4% | -23.0% | -19.8% | -20.4% | -24.2% |
| 参考) 4月-9月実績 | 40:35 | 39:16 | 37:09 | 27:11 | 31:52 | 32:13 | 30:13 |
| 対29年度増減 | | -1:19 | -3:26 | -13:24 | -8:43 | -8:22 | -10:22 |
| | | -3.2% | -8.5% | -33.0% | -21.5% | -20.6% | -25.5% |

【参考】 時間外在校等時間の一人一月あたりの平均時間（月ごと）



《目標3》 教職員1人あたりの年休の年間平均取得日数16日以上



- ・平成29年から減少傾向にあったが、令和3年から増加に転じ、令和4年は平成29年と比較すると2.8日増加。
- ・令和3年と比較すると、2.5日増加。
- ・対前年比増加となった要因として、学校閉庁日の前後には研修を実施しない、年休の付与期間変更（1-12月⇒9-8月）など、休暇を取得しやすい環境づくりに取り組んだことに加え、「学校閉庁日の増加」「管理職による積極的な年休取得の呼びかけ」「年休取得に対する意識の変化」などの効果が表れたものと考えられる。
- ・令和5年9月末時点での平均取得日数は12.5日であり、10月以降の取得状況が昨年並み（+3.6日）であれば、目標を達成する（16.1日）可能性もある状況である。

II 第2期プログラムの延長について

第2期プログラムの実施期間は、令和3年度から令和5年度までの3年間であるが、

- ・取組の成果は着実に表れているものの、全ての項目において目標達成に至っておらず、今後も継続した取組が必要な状況であること。
- ・現在検討を進めている「部活動改革」において、国は令和5年度から令和7年度までの3か年間を改革推進期間と位置付け、取組を行っていること。

以上から、プログラムの内容を一部見直したうえで期間を令和7年度まで2年間延長し、改めて目標達成を目指し取組を進めていく。

【主な見直し内容】

- ・「実施期間」について、：R3～R5（3年間）からR3～R7（5年間）へ延長
- ・「部活動の見直し」について、部活動改革検討委員会の審議内容を反映
- ・「DXの推進」を明記
- ・取組達成項目の削除・整理統合、その他表現の見直し

Ⅲ プログラム延長に伴う骨子（案）

「学校改革！教職員の時間創造プログラム」延長に伴う骨子（案） 新旧対照表

1 プログラムの達成目標

| 改正後（案） | 現行 | 備考 |
|--|--|--|
| <p>【目標1】 正規の勤務時間外の在校等時間が1か月45時間を超える教職員数0人</p> <p>【目標2】 正規の勤務時間外の在校等時間が1年360時間を超える教職員数0人</p> <p>【当面の目標】 正規の勤務時間外の在校等時間が1か月80時間を超える教職員数0人</p> <p>【目標3】 教職員1人あたりの年休の年間平均取得日数16日以上</p> | <p>【目標1】 正規の勤務時間外の在校等時間が1か月45時間を超える教職員数0人</p> <p>【目標2】 正規の勤務時間外の在校等時間が1年360時間を超える教職員数0人</p> <p>【当面の目標】 正規の勤務時間外の在校等時間が1か月80時間を超える教職員数0人</p> <p>【目標3】 教職員1人あたりの年休の年間平均取得日数16日以上</p> | <p>○取組の成果は着実に表れているものの、全ての目標について未達成であることから、目標及び当面の目標は変更しない。</p> |

2 4つの柱と具体的取組

| 改正後（案） | 現行 | 備考 |
|--|---|---|
| <p>【項目1】 持続可能な学校運営に向けた教育活動への転換</p> <p>(1) 部活動の見直し（<u>教育改革推進課・指導課</u>）</p> <hr/> <p>(2) 教育課程（<u>年間授業時数、日課、学校行事</u>）等の総合的な見直し（<u>指導課・教育改革推進課</u>）</p> <hr/> <p>(3) 休暇取得の推進（教職員課）</p> | <p>【項目1】 持続可能な学校運営に向けた教育活動への転換</p> <p>(1) 部活動の見直し</p> <p><u>ア小学校（指導課・教育改革推進課）</u></p> <p><u>イ中学校（指導課・教育改革推進課）</u></p> <p>(2) 教育課程の見直し</p> <p><u>ア年間授業時数や授業時間の見直し（指導課・教育改革推進課）</u></p> <p><u>イ日課の見直し（指導課）</u></p> <p><u>ウ学校行事等の見直し（指導課）</u></p> <p>(3) 休暇取得の推進（教職員課）</p> | <p>○表現の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ア、イを統合し、現行内容に、部活動改革検討委員会での審議内容を踏まえた取組を加える。 <p>○表現の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ア、イ、ウは、全ての学校が取組を行っており、一定の効果が出ているため項目を統合したうえで、総合的な見直しに取り組む。 |

| | | |
|---|---|--|
| <p>【項目2】 新しい時代の働き方を創造する <u>DXの推進</u> (1) 一人一台<u>端末</u>の活用 ア教材の共有化（教育センター） イ家庭学習における活用（教育センター） ウ <u>教育相談等</u>での活用（指導課・総合支援課）</p> <hr/> <p>(2) 会議や研修の見直し ア学校外での会議や研修（教育センター・指導課） イ校内での会議や研修（教育センター・指導課）</p> <p>(3) 多様な場所で働ける環境の整備（教育センター）</p> <p><u>(4) 成績処理・進路事務等の効率化（指導課・教育改革推進課）</u></p> <p><u>(5) 欠席連絡等、学校・保護者間連絡システム整備（教育政策課）</u></p> <p><u>(6) 既存システムの改善（教育政策課・健康教育課・教育センター）</u></p> <p>【取組項目3】 <u>多様な</u>人材や民間活力等の活用による学校支援 (1) 再任用 <u>教員等</u>の活用（教職員課） (2) SSWの拡充（総合支援課） (3) 地域人材の活用に向けた取組（地域教育推進課・指導課） (4) 外国語専科教員の配置（小学校）（教職員課・指導課）</p> | <p>【項目2】 新しい時代の働き方を創造する <u>ICTの活用</u> (1) 一人一台の<u>タブレット</u>の活用 ア教材の共有化（教育センター） イ家庭学習における活用（教育センター） ウ <u>家庭訪問や教育相談</u>での活用（指導課・総合支援課） <u>エ保護者への通知・通信等の配付（教育センター）</u></p> <hr/> <p>(2) 会議や研修の見直し ア学校外での会議や研修（教育センター・指導課） イ校内での会議や研修（教育センター・指導課）</p> <p>(3) 多様な場所で働ける環境の整備（教育センター）</p> <p>【取組項目3】 <u>外部</u>人材や民間活力等の活用による学校支援 (1) 再任用 <u>短時間</u>教員の活用（教職員課） (2) SSWの拡充（総合支援課） (3) 地域人材の活用に向けた取組（地域教育推進課・指導課） (4) 外国語専科教員の配置（小学校）（教職員課・指導課） <u>(5) 事務機能の強化（教育改革推進課）</u></p> | <p>○DXの推進を明記 ○表現の見直し</p> <p>○表現の見直し ・保護者懇談会での活用等も想定</p> <p>○2（5）へ移動</p> <p>○3（7）から移動、内容見直し</p> <p>○2（1）エから移動、内容見直し</p> <p>○新設</p> <p>○表現の見直し ○フルタイムを含めた再任用教員等の活用を進めていく等のため記載を変更</p> <p>○4（2）へ移動</p> |
|---|---|--|

| | | |
|--|--|---|
| <p><u>(5) 教科書給与事務の外部委託 (指導課)</u></p> <hr/> <p>【取組項目 4】 働きやすい職場環境づくりに向けた各学校での意識改革や創意工夫</p> <p>(1) 教頭業務の整理と改善 _____ (教育改革推進課)</p> <p><u>(2) 学校事務の整理と改善 (教育改革推進課・教職員課・教育センター)</u></p> <p>(3) 小学校高学年における一部教科担任制の推進(指導課・教職員課)</p> <p>(4) 管理職マネジメント研修の充実と意識改革(教育センター・教職員課)</p> <p>(5) 教職員の _____ 出退勤打刻の徹底(教職員課)</p> <p>(6) 最終退校時刻及び定時退勤日の遵守(教職員課)</p> <p>(7) 勤務時間の繰り上げ繰り下げ制度の積極的活用(教職員課)</p> | <p><u>(6) 教科書給与事務の外部委託 (指導課)</u></p> <p><u>(7) 高校入試手続 (指導課)</u></p> <p>【取組項目 4】 働きやすい職場環境づくりに向けた各学校での意識改革や創意工夫</p> <p>(1) 教頭業務の整理と改善<u>の工夫</u> (教育改革推進課)</p> <p><u>(2) 通知表の簡略化 (指導課)</u></p> <p>(3) 小学校高学年における一部教科担任制の推進(指導課・教職員課)</p> <p>(4) 管理職マネジメント研修の充実と意識改革(教育センター・教職員課)</p> <p>(5) 教職員の <u>タイムカード</u> 出退勤打刻の徹底(教職員課)</p> <p>(6) 最終退校時刻及び定時退勤日の遵守(教職員課)</p> <p>(7) 勤務時間の繰り上げ繰り下げ制度の積極的活用(教職員課)</p> | <p>○2 (4) ～移動</p> <p>○表現の見直し</p> <p>○『回数削減等』全ての学校が実施。2 (4) ～統合</p> <p>○3 (5) から移動、表現の見直し</p> <p>○表現の見直し</p> |
|--|--|---|

IV 今後のスケジュール

| | | 骨子 | 本体 |
|-----|----|--------------------|--------------------|
| 9月 | | | |
| | 中旬 | 教育改革推進課案の作成 | |
| | | ↓ | |
| | 下旬 | 関係各課・プロジェクトメンバーへ照会 | |
| 10月 | 上旬 | | |
| | | ↓ | |
| | 中旬 | 案完成 (メンバーに共有) | |
| | 下旬 | 教育委員協議会 | 教育改革推進課案の作成 |
| 11月 | | | |
| | | | ↓ |
| | 下旬 | 教育委員会会議 協議 | |
| 12月 | | | 関係各課・プロジェクトメンバーへ照会 |
| | 中旬 | | ↓ |
| | 下旬 | 市議会R5第4回定例会報告 | 案完成 |
| 1月 | | | |
| | 中旬 | | (プロジェクト会議開催) |
| | 下旬 | | 教育委員会会議 協議 |
| 2月 | 上旬 | | |
| | | | |
| | 下旬 | | 市議会R6第1回定例会報告 |
| 3月 | | | |
| | | | |
| | 下旬 | | 教育委員会会議 議決 |